

アイドリングエリア セッティング

ビュクインジェクター使用時の始動性向上及びアイドリング安定化のため、アイドリングエリアでの補正可能です。その際のマップ調整方法を説明します。

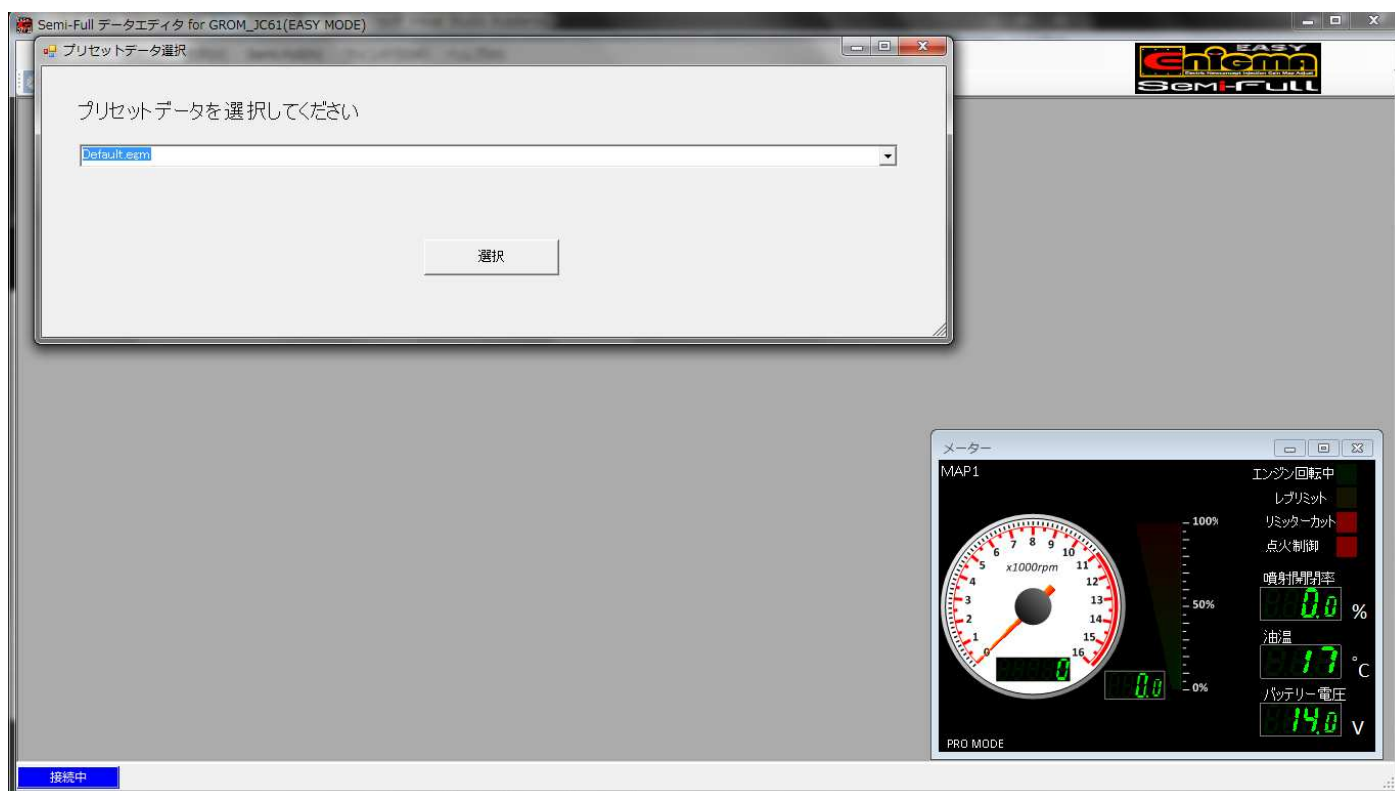
ノーマルインジェクターの場合、全体補正、温度調整、電圧調整については全て 0 のまま (ECU の補正のまま) で通常問題ありません。ビュクインジェクターを使用した時等、ECU の補正量では補正しきれない場合にご使用ください。

1. 調整前の準備

- ・電圧補正をさせないようにするため、**バッテリーを満充電し、尚且つバッテリーに充電器を接続し常に満充電状態**にします。

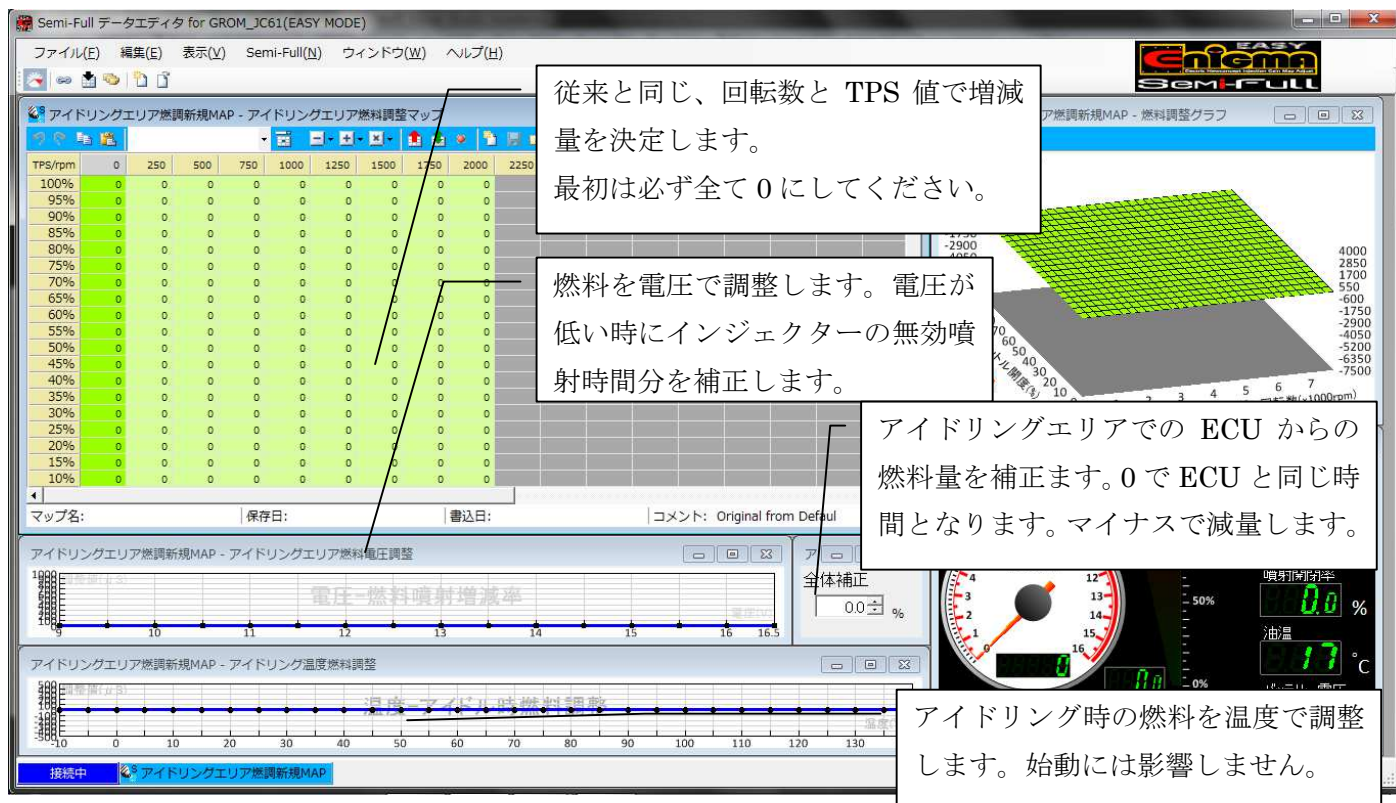
- ・全て 0 のマップを新規作成します。

「ファイル」→「新規作成」→「アイドリングエリア燃料補正マップ」にチェックをつけ「選択」



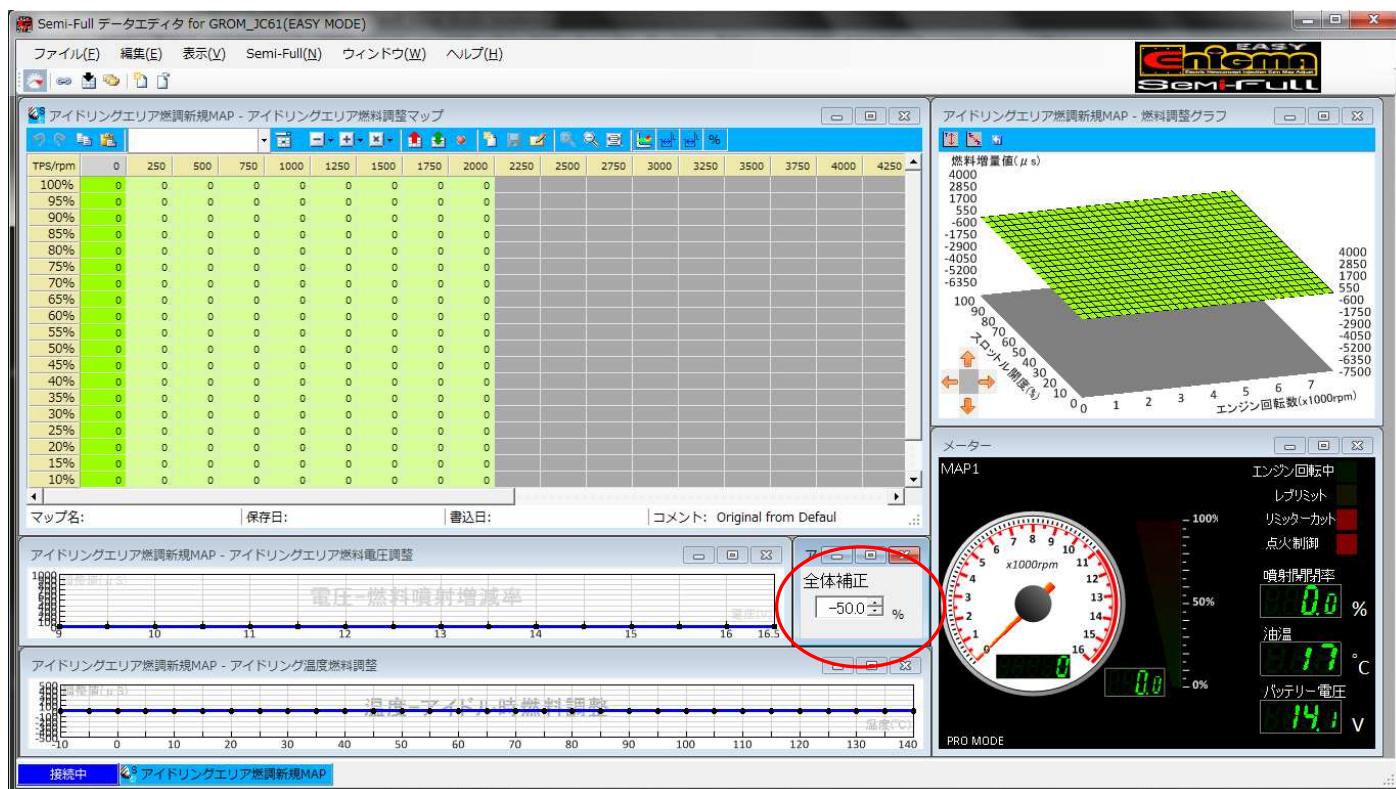
「Default.egm」を選び「選択」します

新規マップ 0 マップが作成されます。



2. アイドリングエリアの全体補正

まず最初にアイドリングエリアでの全体補正值を決定します。



他のマップを全て 0 にし、全体補正值を入力し、SemiFull へ書き込みします。

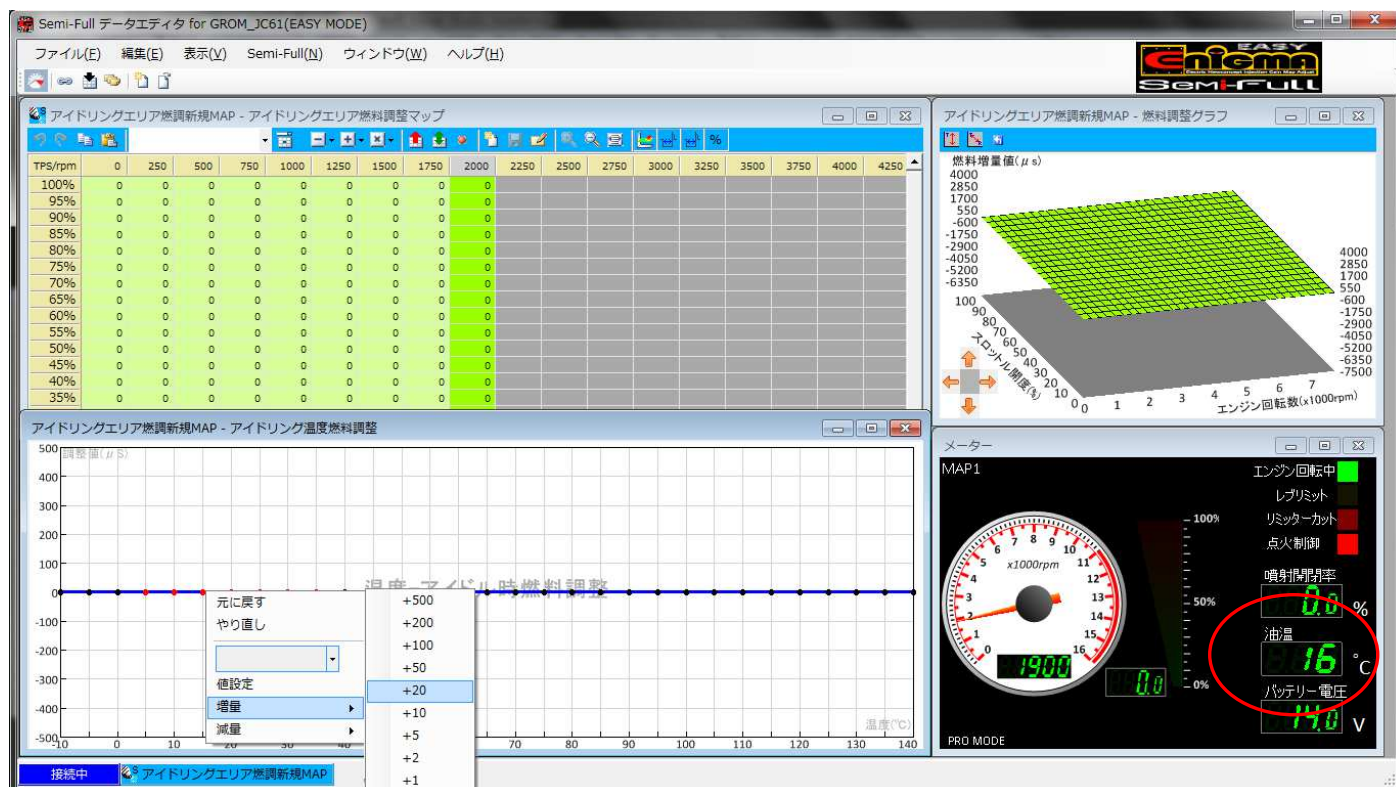
プラスが増量方法、マイナスが減量方向です。「0.0%」と設定した場合、ECU の噴射時間と同じ、「-50.0%」と設定した場合、ECU が噴射している時間の半分の時間を噴射します。ビックインジェクターの場合ここを少しずつ減らしてエンジンがかかりアイドリングするように調整します。

あまりに大きく絞る必要がある場合、インジェクターの選択に問題があると思われます。

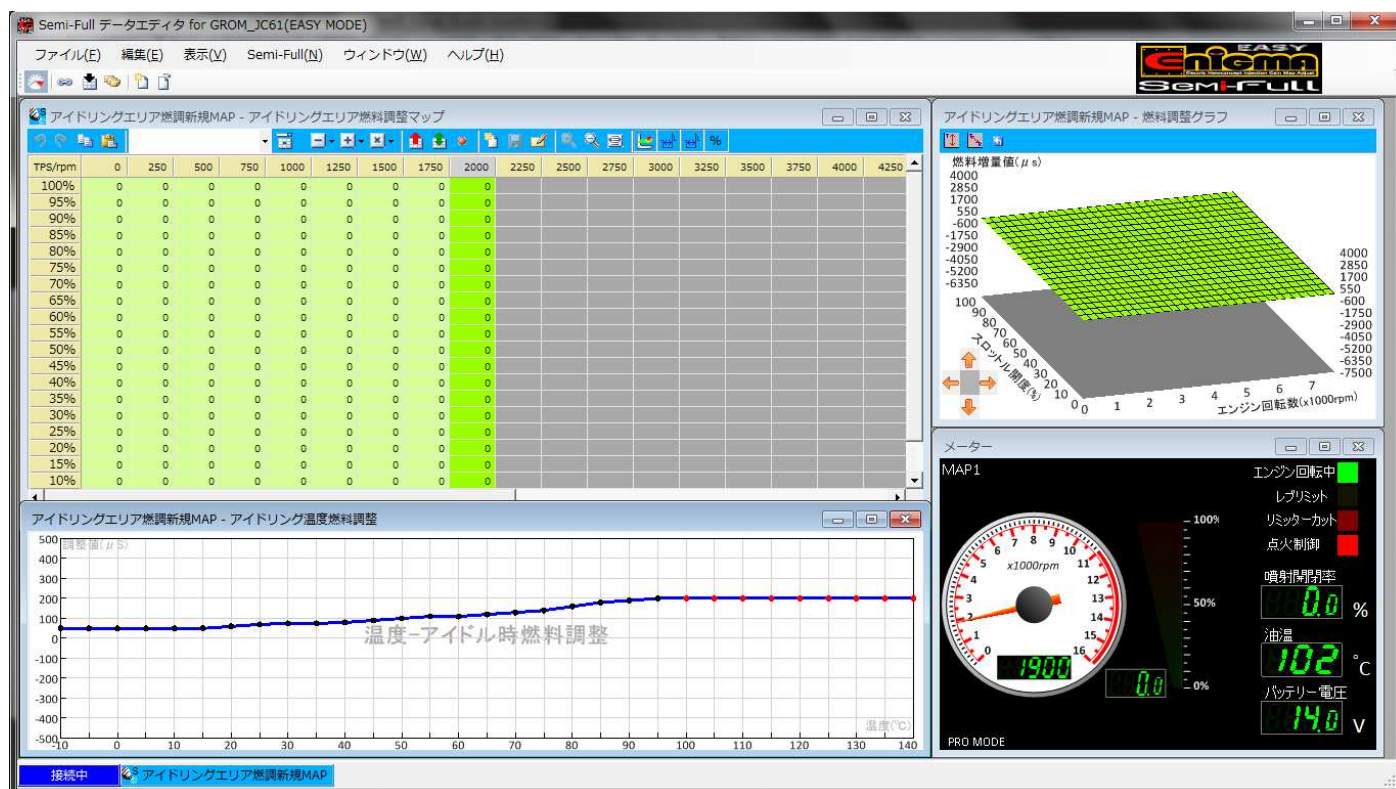
一定量以上絞ると燃料がでなくなるものがあります。

3. アイドリング時の温度補正

大体の全体補正が決まれば、エンジンをアイドリングさせながら、温度による補正を決定していきます。



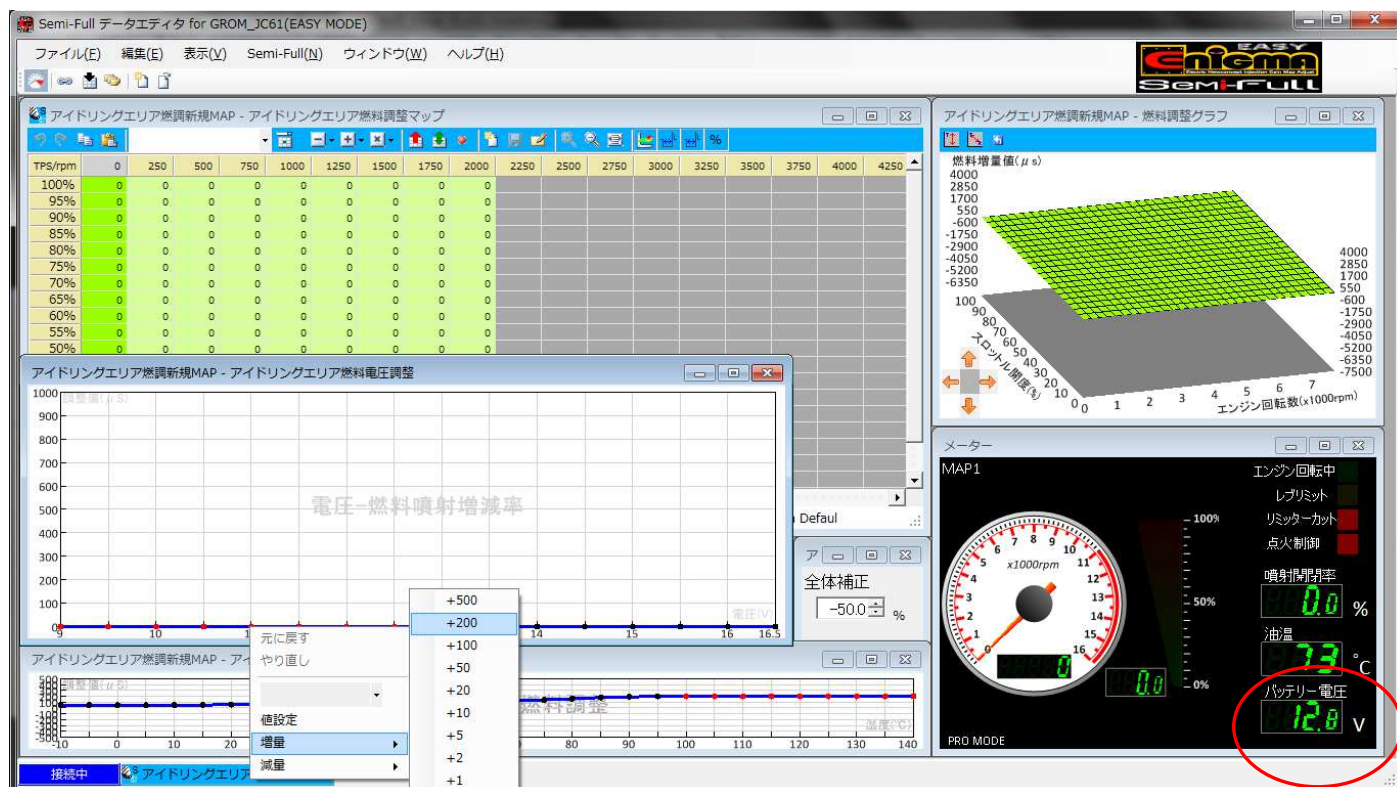
エンジン温度と空燃比計を見ながら調整していきます。この温度調整量はエンジン始動時には反映されません。



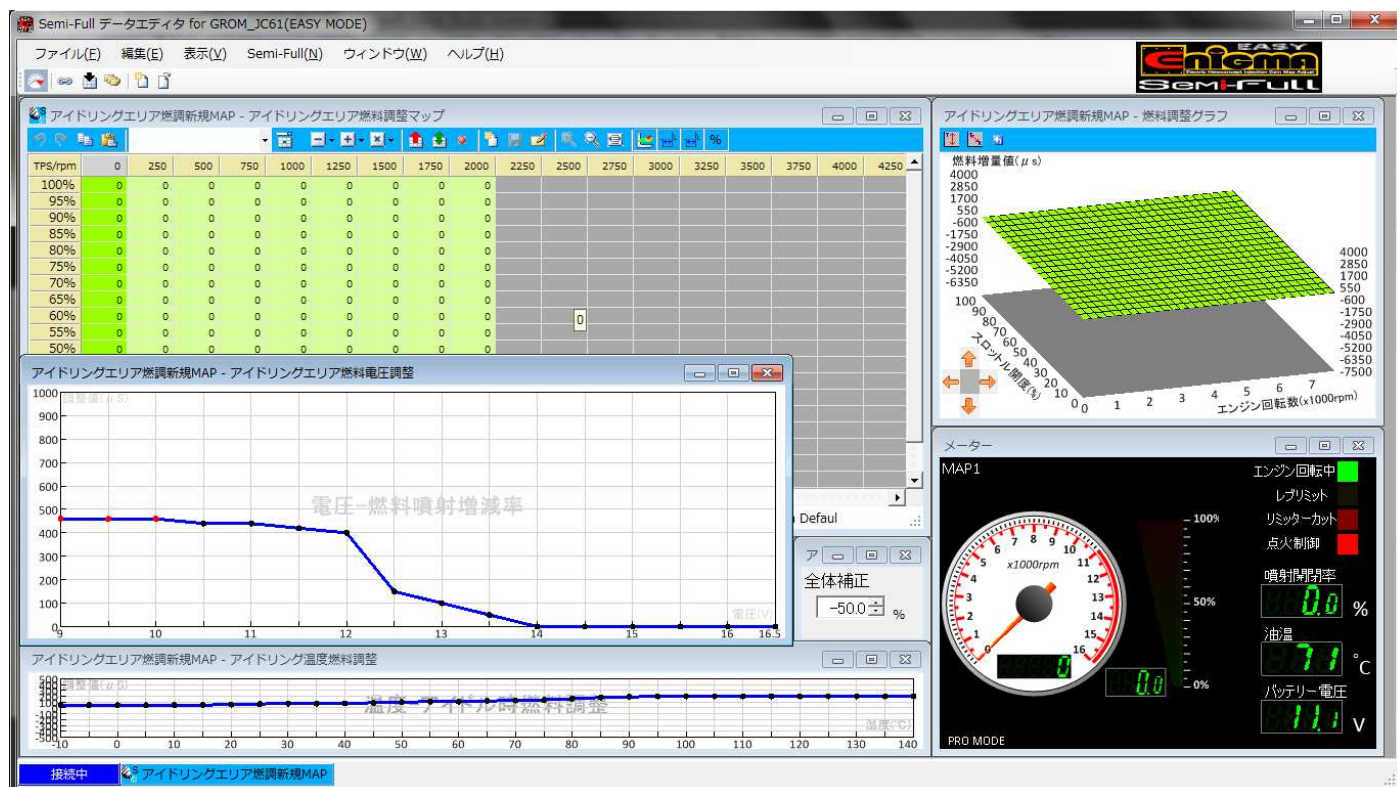
もし補正量が多くずれるようであれば、再度全体補正を見直します。

4. アイドリングエリアの電圧補正

ビックインジェクターを使用すると、ノーマルインジェクターと無効噴射時間が異なるため、ECU の無効噴射時間補正だけでは合わないことがあり、バッテリーの電圧により始動やアイドリングの不安定を招くことがあります。この事の解消のため電圧補正を行います。



バッテリー充電器を外し、電圧を変動させて、始動を数回繰り返しながら満充電の時を0として補正值を入力していきます。



電圧調整量は始動時及び、アイドリング時両方に反映されます。(実際には始動してアイドリングすると電圧が上がるので、低電圧部分は始動時のみの調整となります)